

令和6年度 静岡県立浜松南高等学校第1回学校運営協議会議事録

I 日 時

令和6年6月8日（土）午前10時から午後0時10分まで

II 場 所

静岡県立浜松南高等学校 第一応接室

III 出席者

学校運営協議会委員

鎌田 徳之（PTA会長）

川嶋 利博（新津地区自治会連合会長）

川嶋 利幸（浜松ホトニクス株式会社 産業開発センター長）

奈木真由美（同窓会副会長）

林 左和子（静岡文化芸術大学文化政策学部 教授）

山下 広祐（株式会社春華堂 直営部運営推進課長）

（飯島 美奈）（同 地域の力創造室長）

欠席者

塩見 彰睦（静岡大学大学院総合科学技術研究科情報学領域 教授）

学校職員

校 長 鈴木 学

副 校 長 加藤 文人

教 頭 山崎 修司

事 務 長 村松 傑

教務主任 小粥 俊輔

IV 内 容

1 任命状交付(校長)

2 校長挨拶

本日は波濤祭（文化祭）の一般公開日である。準備段階から実施に至るまで生徒は主体的に行動し取り組んでいる。

今年度の新入生から新制服となった。2、3年生も希望があれば新制服の購入が可能であるが、新旧が混在している状況であるため、着こなし等においてルールの理解が浸透しにくい部分がある。それらの問題については、規則等を押し付けるのではなく、様々な課題を含め、生徒が考え、何らかの解決策を見出して実現してもらいたい。南高校の生徒であれば出来るだろうと信じている。

1年生の総合的な探究の時間においては「学校改善プレゼン」というテーマ設定で、南高校の気になるところをどのように変えていくかということに取り

組んでいる。

様々な課題に対してすぐに結果が出てこない状況もあるが、委員の皆様にはそれぞれの立場から御理解と御支援をいただければと思う。

校舎の建替えが本格的に始まる。8月頃より格技場の取り壊しに着手するため、一部の部活動には影響があるが、工事期間中は仮設校舎等ではなく既存校舎を使用するため、教育環境はこれまで同様に保ちながら生徒への負担を最小限に工事を進めていく。

生徒に対しては、本校の教育目標である「高い志の実現」そのための人間力の向上、具体的には主体的に動くことや考えることを促す場面を沢山作っていききたい。新しい校舎の建築をはじめ、教育環境の整備等、より良い浜松南高校を構築していく。

昨年度からの学校評議員会、コンソーシアム会議を引き継ぐ形で、今年度より学校運営協議会(コミュニティスクール)を発足させた。本日は初回でもあるため、御説明や規約策定が中心になる。

皆様におかれては、御理解いただき御協力をお願いしたい。

3 学校運営協議会制度について説明(校長)

- ・静岡県立高校・特別支援学校における学校運営協議会制度導入の手引き
＜概要版＞
- ・静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- ・静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱

4 自己紹介

5 会長・副会長選出

静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則(14条)

- ・会長選出については、本日、欠席の塩見彰睦 委員から内諾を得ている。
(会 長)塩見 彰睦 委員 互選により全委員了承
- ・副会長選出については林 佐和子委員から内諾を得ている。
(副会長) 林 佐和子 委員 互選により全委員了承

6 議 事

本来議事進行は会長であるが、初回であるため事務局で行う。(副校長)

(1)「静岡県立浜松南高等学校における学校運営協議会の設置に関する要項(案)」の検討

以下を踏まえ内容検討

- 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則
- 静岡県立学校における学校運営協議会の設置等に関する要綱

- ・要綱第3条により協議会の名称は設置学校名を冠するとしている。

- ・要綱第 8 条に協議会の実施回数は年 4 回を基本とするとしている。
- ・規則第 16 条では基本的に会議は公開する。ただしこの限りではないとしている。非公開の決定は要綱第 9 条にあるとおり会長が当該会議に諮って行う。
- ・要綱第 10 条 2 に会議の公開について、傍聴の定員はあらかじめ定めるとしている。浜松南高校では定員を 10 名とする。
- ・要綱第 11 条に議事録を作成し、ホームページに掲載することになっている。
- ・要綱第 12 条で学校評価を協議会の会議で実施することができるとしている。

「静岡県立浜松南高等学校における学校運営協議会の設置に関する要項(案)」について、全委員了承 ※(案)を削除

(2) 学校経営計画について

ア 校長説明

- ・スクールミッション、スクールポリシーは一昨年度末に策定した。スクールミッションに掲げた「自らの人生を切り拓き生き抜く人材の育成を目差す」ということが一番のポイントである。
- ・スクールポリシーについては、どのような事を行うか、カリキュラム、教育課程でどこを目指すのか、入学してくる生徒に何を求めるかなどを示している。
- ・具現化の柱「高い学力を育む」ことで進路実現を図る。そのためには様々な「学力を伸ばす」必要があり、更に学力を伸ばすためには「人間力を高める」ことが重要である。また「安全安心な教育環境を整える」ことも併せ教育活動を展開している。
- ・昨年度の反省を踏まえ、達成方法や成果目標には修正等をしている。

【委員より質疑 等】

○ 「学校経営計画書」の策定期間はいつ頃か？

→ 前年の 1 月頃に反省が出てくるので、それを踏まえて 2、3 月に次年度の計画の素案を議論し策定する。今回は校長が変わったため、4 月に改めて方針等を確認した。次年度の「学校経営計画書」については、来年 2 月の協議会で御意見をいただければ次年度に反映させていただく。

○ 交通安全、防災についてであるが、昨年度の学校評議委員会の時から話していることでもあるが、中学ではヘルメットを着用しているのに高校に入るとなぜ被らないのか。思春期で見た目を気にする年代でもあり、努力義務ということも理解しているが、命に直結することである。若い命を守るという観点からも学校としてのルールを保護者も交え考えたらどうか。

また、防災教育などの知識を教えることにも力を入れてほしい。

○ 車の通りが激しい登下校時の時間帯に多くの自転車通学の生徒がいる中、通りに電柱が張り出している状況を危惧していた。「神田大通り発展会」という 20 社程度の企業連合の皆様や地元地域の皆様と意見が一致したた

め、署名をいただき電柱の地中化の要望を2年ほど前からしている。

安全安心の担保についてサポートできればと思っている。

イ 学校経営の基本的な方針について

- ・全委員了承
- ・「学校経営計画書」を基本的な方針として動いている。今後も学校の様子を見ていただきながら、より良い学校づくりの観点から年間を通じて御意見をお願いしたい(副校長)

(3) 学校運営についての協議

ア 学校の様子(教頭)

浜南進路だより 116号より

- ・四年制大学現役合格者数 過去最多
- ・入学時に国公立大学を希望としていた50%が合格 ※国公立大136名
- ・「安易に受験科目を絞らない」「最後まであきらめない」という進路指導方針に生徒が応え、最後まで頑張っている。
- ・令和6年度から受験科目を含め時間数が増えるなど大きく変わるが、受験システムに左右されず、基礎基本や授業を大切に、知識偏重ではなく、大学へ進学後も学び続けるような人間力の向上を目指している。

令和6年度生徒の活躍、令和5年度学校案内、

- | | |
|------------|----------------------|
| ・写真部 | 令和6年度 全国高等学校総合文化祭出場 |
| ・女子ハンドボール部 | 令和6年度 全国高等学校総合体育大会出場 |
| | 令和6年度 東海高等学校総合体育大会出場 |
| 陸上競技部 | 令和6年度 東海高等学校総合体育大会出場 |

波濤祭(文化祭)

- ・生徒の企画により中夜祭を実施
- ・昨日の文化部の発表において、書道部、吹奏楽部、音楽研究部によるコラボによる発表をした。

イ 春華堂様より

「地域のチカラ創造室」「遠州和栗プロジェクト」

- ・地域を繋ぐ場としての取組について御紹介。このような場を活用いただき、かかわれることがあればと思う。
- ・地域の課題に向き合うことに気づかされた。
- ・複合的に地域、企業、行政を巻き込みながら進めている。
- ・人材不足、若者の流失が課題。仕事が少ないなど原因は様々であるが、住み続けたい街を残すために子供のころから地域愛を醸成していくことが大事。遠州地域を持続発展型のまちづくりに変えていくことを考えていく。

- ・場づくりや場をリードする人づくり、人間力を備えた人材づくりが必要。

7 その他

(1) 学校関係者評価

- ・年度末に学校の中で自己評価したものに対して評価をしていただきたい。

(2) 今後の予定

令和6年11月7日(木)午前（授業参観）

令和6年12月20日(金)午後（理数探求発表会）

令和7年2月13日(木)午前